

やはば

議会だより

213

2020.7.16

岩手県
矢巾町議会



議会で決めたこと

コロナ支援に迅速対応 2

町政を問う 一般質問 9 議員

施設管理計画の遅延理由は 5

議会からのお知らせ

追跡 あの質問はどうなった 15

夏の花いっぱい運動
(関連記事…P16)

コロナ支援に迅速対応

5月1日に開催された定例会5月会議では、国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策関係の条例改正や補正予算が議決されました。また、6月2日から6月11日まで開催された定例会6月会議では、条例改正議案や一般会計・介護保険事業特別会計の補正予算などが議決され、一般会計の総額は約133億5300万円となりました。

5月会議

条例

学校給食の実施及び学校給食費の管理に関する条例の制定

学校給食費を町の予算に計上して管理・運用を行う「公会計」方式に移行するものです。口座振替や納付書による納入も可能になります。

補正予算

主な歳入

▽特別定額給付金給付事業費補助金
27億2960万円

▽子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費補助金
3513万円

▽財政調整基金繰入金
4963万円

主な歳出

▽特別定額給付金
27億2960万円

▽子育て世帯への臨時特別給付金
3513万円

▽新型コロナウイルス感染症対策資金利子補給金
1498万円

所得税の課税は

質問 10万円の特別定額給付金に所得税は課税されるのか。
回答 所得税は課税されない。

6月会議

条例

税条例の一部改正

新型コロナウイルス対策の税制上の措置で、収入が大幅に減少した際、申請により1年間徴収が猶予されます。

特別職の給与及び旅費等に関する条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症による厳しい状況を踏まえ、町長・副町長・教育長の給与を3か月間減額し、町民と事業者に寄り添う支援を推進するものです。

減額分の使い道は

質問 町長、副町長、教育長の

給与減額分の使い道は。

回答 財政調整基金に積み立て、使途は今後検討する。

質問 町長2割、副町長・教育長10割給与減額の割合の根拠は。
回答 三役の考えを反映。

補正予算

主な歳入

▽新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
1億472万円

▽公立学校情報機器整備費補助金
6586万円

▽学校給食費負担金
△1855万円

主な歳出

▽新型コロナウイルス感染症対策要保護世帯等支援給付金
530万円

▽町づくり事業工事請負費
2942万円

▽消防団ドローン購入費
194万円

▽小学校教材備品購入費
7108万円

▽中学校教材備品購入費
3953万円

町内全域に

Wi-Fi環境を整備

質問 町づくり事業の工事内容は。
回答 町内主要地区を対象としたWi-Fi（ワイファイ）アンテナを約45基設置する予定。

消防ポンプ自動車を更新
 第3分団第10部の消防ポンプ自動車を2255万円で購入。令和3年3月納車予定。

財産取得

質問 非常備消防事業のドローン購入の内容は。
回答 消防演習の縮小や操法大会の中止により、執行できなかった経費と県補助金を充て3機のドローンを購入。捜索を目的に、サーモカメラを2機設置する予定。

質問 タブレット型PCの使い方は。また保護者への説明や教員への講習の取り組みは。
回答 基本的には学校に端末を置き、教科書のQRコードを読み取り画像資料を見るなど、普段の授業で使いたい。保護者への説明や教員への講習などは、学校と歩調を合わせて取り組みたい。

学習にタブレット型PCを活用

質問 タブレット型PCの使い方は。また保護者への説明や教員への講習の取り組みは。
回答 基本的には学校に端末を置き、教科書のQRコードを読み取り画像資料を見るなど、普段の授業で使いたい。保護者への説明や教員への講習などは、学校と歩調を合わせて取り組みたい。

消防団にドローンを配備

質問 非常備消防事業のドローン購入の内容は。
回答 消防演習の縮小や操法大会の中止により、執行できなかった経費と県補助金を充て3機のドローンを購入。捜索を目的に、サーモカメラを2機設置する予定。

反対討論

議案50号 一般会計補正予算
 コロナ対策費がGIGA(ギガ)スクール構想のタブレットやインターネット整備に充てられ、実際に困っている方への支援につながらないことから反対する。

小川 文子

議案50号 一般会計補正予算
 町づくり事業のWi-Fi(ワイファイ)工事は町内全域の大きな工事であり、大企業優先の予算となっている。

また、タブレット教育の導入によりITに不得意な教員の過重負担につながるから反対する。

川村 よし子

議案52号 特別職の給与及び旅費等条例の一部改正
 減額した三役の報酬を財政調整基金に積み上げて、コロナ対策に使用されるかどうか使途が不明である。減額より活動で結果を出すべきと考え

ることから反対する。

昆 秀一

各議案の採決状況

令和2年定例会5月会議

議案番号	提出議案	藤原 信悦	吉田 喜博	小笠原 佳子	谷上 知子	村上 信一	廣田 清実	高橋 安子	水本 淳一	赤丸 秀雄	昆 秀一	藤原 梅昭	長谷川 和男	川村 よし子	小川 文子	山崎 道夫	廣田 光男	高橋 七郎	採決結果	
第38号	学校給食の実施及び学校給食費の管理に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第39号	国民健康保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第40号	令和2年度一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第41号	令和2年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

令和2年定例会6月会議

第42号	税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第43号	手数料条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第44号	介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第45号	後期高齢者医療に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第46号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第47号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第48号	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第49号	財産の取得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第50号	令和2年度一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	可
第51号	令和2年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第52号	特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	●	●	●	○	○	可
第53号	令和2年度一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	●	●	●	○	○	可

○=原案に賛成 ●=原案に反対 可=可決 否=否決 注:藤原由巳議長は採決に加わらない。

町政に成果を反映

政務活動費報告

会派名	町民の会	一心会	矢巾明進会	日本共産党	令和やはば	公明党
所属議員	廣田清実 高橋安子 水本淳一 藤原信悦 吉田喜博 高橋七郎	山崎道夫 廣田光男 藤原梅昭 昆 秀一 赤丸秀雄	長谷川和男 村松 信一 藤原 由巳	小川 文子 川村よし子	谷上 知子	小笠原佳子
収入	1,056,000円	880,000円	528,000円	352,000円	176,000円	176,000円
支出	政務活動費(①)	875,469円	561,810円	313,844円	112,362円	66,065円
	調査研究費	0円	255,194円	0円	0円	0円
	研修費	0円	0円	0円	0円	0円
	会議費	0円	0円	0円	0円	0円
	資料作成費	0円	0円	0円	0円	0円
	資料購入費	0円	0円	0円	0円	0円
	広報費	0円	53,136円	0円	138,336円	0円
出	事務費	0円	0円	0円	0円	0円
合計(②)	875,469円	870,140円	313,844円	250,698円	164,126円	66,065円
収支差引残額(①-②)	180,531円	9,860円	214,156円	101,302円	11,874円	109,935円

収支報告書や領収書などの明細は、町ホームページでご覧いただけます。また、役場4階の議会事務局で閲覧することができます。

もっと詳しい内容を
知りたいときは？

政務活動費に残額が生じた場合は町に返還し、また、不足分は個人負担となります。

収支差引残金は
どうしているの？

議員の調査研究活動の充実を図るために、必要な経費の一部を補助するものです。矢巾町では、会派に対して、議員一人あたり月額1万6000円を予算としています。

政務活動費ってなに？



主な調査研究・研修活動

開催日	内容	参加会派
令和元年 7月10日 ～ 7月11日	研修会受講（東京都豊島区） ・障がい福祉の動向とこれから ・地方自治体に必要な取り組みを考える	一心会
令和元年 8月6日 ～ 8月8日	先進地視察 ・定住促進に向けた取り組みについて（京都府綾部町） ・議会災害対策本部設置要綱について（京都府与謝野町）	町民の会 矢巾明進会
令和元年 8月7日	研修会受講（東京都中央区） ・人口減少社会における持続可能な医療・介護を考える ・本格的少子高齢化社会における社会保障政策を考える	令和やはば
令和元年 11月26日 ～ 11月28日	先進地視察 ・森林セラピーの取り組みについて（福岡県篠栗町） ・コミュニティ・スクールについて（福岡県春日市）	一心会 日本共産党 令和やはば
令和2年 1月27日 ～ 1月28日	研修会受講（東京都立川市） ・貧困問題と生活保障の課題や障がいのある人の人権を守るために市町村は何をすべきか	一心会
令和2年 2月3日 ～ 2月5日	先進地視察 ・子育て応援施策『11の鍵』について（兵庫県相生市） ・一日ひと褒め条例の取り組みについて（兵庫県多可町）	町民の会 矢巾明進会 公明党

ズバリ 町政を問う

自粛解除で久しぶりの活動（楽々クラブ グランドゴルフサークル）

一般質問

一般質問とは、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。6月会議では下記の内容について9人の議員による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。

●村松信一 議員 …………… P 6

- ①将来負担軽減のための公共施設等
総合管理計画
- ②小中学校の各種行事

●赤丸秀雄 議員 …………… P 8

- ①コロナ禍における町の支援と取り組み
- ②安心・安全な環境整備

●谷上知子 議員 …………… P10

- ①今後の新型コロナウイルス感染症予防対策
- ②町に元気を取り戻すための文化活動

●川村よし子 議員 …………… P12

- ①新型コロナウイルス危機から命と暮らしを守る施策
- ②学校給食共同調理場の民営化
- ③農業振興事業

●小川文子 議員 …………… P14

- ①スーパーシティ構想
- ②徳田在来種のハトムギ

●昆秀一 議員 …………… P 7

- ①新型コロナウイルス感染症対応
- ②読書
- ③介護事業
- ④自閉症スペクトラム障害のある方への支援等

●小笠原佳子 議員 …………… P 9

- ①中高年のひきこもりに対する実効性ある
支援と対策
- ②新型コロナウイルス感染症拡大への対策
- ③矢巾町での病後児保育事業の取り組み

●藤原信悦 議員 …………… P11

- ①人口減少に向けた取り組み
- ②産業振興
- ③北上川氾濫浸水時の避難行動のための
取り組みと無堤防区域の解消

●山崎道夫 議員 …………… P13

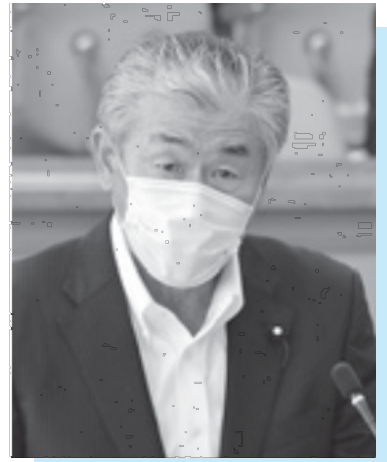
- ①新たな農政指針に対する取り組み
- ②「心の湯治場」森林セラピーコース設定の
取り組み

※次ページからの各議員の質問と答弁は、紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。

詳しい内容は、議会事務局にお問い合わせください。

問い合わせ 議会事務局 ☎ 019-611-2801

施設管理計画の遅延理由は コロナ感染症対策を優先



むらまつしのぶかつ
村松信一 議員
(矢巾明進会)

質問 2019年度末期限の
公共施設等総合管理計画の策
定状況は。

町長 新型コロナウイルス対策
を優先し作業を中断した。
8月中の完成を目指す。

質問 コロナウイルス対応に
よる遅延は致し方ないが、遅
延時点または3月会議で報告
すべきではないか。

町長 遅延時点で議会へ報告
すべきであったが、今後十分
注意し対応する。

質問 医大総合移転による交
通量の増加に伴い既に策定済
の道路・上下水道・橋梁の寿
命に影響はないか。



多数の応援があった昨年の地区中総体
(男子ハンドボール競技 矢巾中学校 対 矢巾北中学校)

町長 上下水道は計画時から
整備を進めており問題はない。
橋梁は5年に1回、道路に
ついても概ね5年毎の見直し
を行うこととしていることか
ら、その時点で社会情勢の変
化を反映させ計画を策定する。

質問 管理計画策定業務委託
料3922万円の入札が不調
となったが、策定を職員だけ
でどのように行っているか。
町長 県立大学のASETマ
ネジメント研究会で専門的な
知識を得ながら進めている。

**地区中総体での
好記録の扱いは
関係機関と協議する**

質問 県大会が中止となり、
地区中総体で好記録が出た場
合、県の記録としての扱いは。

教育長 県内で同様の問題が
発生すると考えられる。
関係機関と協議し決めたい。

質問 地区中総体は無観客で
実施する予定であるが、応援
ができない保護者や家族等の
ため、各競技をビデオ撮影し
配布してはどうか。

教育長 今回は制約のある特
異な競技会であることから関
係者で協議検討する。

質問 例年各種大会で県代表
レベルの好成績で活躍した場
合、町の顕彰メダルを授与し
ているが今年度の扱いはどう
するのか。

教育長 関係者で協議し対応
したい。



こんしゅういち
昆秀一 議員
(一心会)

新型コロナ情報の周知は ホームページ等で最新情報を発信

質問 町ではさまざまな新型コロナ対応や支援を行なってきているが、なかなかその情報が町民へ伝わっていない。町民へのコロナに関する情報周知の方法はどうなっているのか。

町長 広報紙・ホームページ等を活用し、最新の情報を発信できるように努めている。

質問 新型コロナによる教育への影響の把握と対応は。

教育長 校長会議等を通じて把握し、児童生徒に対して、手洗いやマスクの励行を徹底している。

GIGAスクール構想については前倒しで進めていく予定である。



読書の習慣をつけるためには読み聞かせが大切になってくる

ブックスタートの 取り組みを

早期に取り組み

質問 ブックスタートとは、0歳児健診などの機会に絵本を開く楽しい体験と、絵本を

プレゼントするという活動である。このブックスタートを町としてぜひ取り組んでほしいか。

町長 幼い頃から読書することは大切だと考えている。

非常にいい取り組みだと思うので、早期に取り組みたい。

質問 読書は健康寿命延伸に有効であるので、推進してはどうか。

町長 介護予防対策の中に読書を位置付けて、健康寿命の延伸を図っていく。

介護計画策定に データの検証を

今後の策定に向けて 調査を行う予定

質問 介護計画策定にあたっては、近隣や類似自治体のデータを参考にすべきであるが、どのように分析・検証しているのか。

町長 今後、第8期介護保険事業計画を策定するため調査を行うっていくことにしている。

質問 フレイル予防には、タンパク質をしっかりと取るのが大切だが、その支援は。

町長 現在、おれんじボランティアによる家事支援など必要な支援を行なっている。

※ GIGAスクール構想：児童生徒に1人1台端末と、高速通信ネットワークを一体的に整備し、誰一人取り残すことのない学びを学校現場で持続的に実現させる国が進めている構想

町の支援・取り組みは 支援金の相談や申請に対応



あかまるひろお
赤丸秀雄 議員
(一心会)



コロナ対策により持ち帰りを始めた飲食店

質問 コロナ禍において、個人・小規模事業者の売り上げが減少し事業維持に大変苦慮している。この事象をどう捉え支援をどのように行うのか。

町長 売り上げ減少の事業者が多数あることは認知している。国の持続化給付金等と併

せ、町の資金制度も活用いた
だきたい。

質問 国の支援申請手続きが煩雑で、審査にも時間を要すると聞くと町への相談件数は。

町長 申請手続きの相談には商工会と連携して、丁寧に対応している。相談件数は230件を超えている。

経済回復施策は 動向を見据え考える

質問 飲食業の方々は今後のことを心配している。町では具体的な支援策を検討しているか。

町長 県の支援策や情勢を見ながら検討していく。

学校生活の状況は 通常に戻りつつある

質問 3月休業で学習や行事への影響、部活や体育のあり方など制約されたが、現在の状況は。

教育長 小学生の学習に若干の遅れがあり、4月当初に前の学年の授業を行った。

行事は運動会と修学旅行を2学期の実施で調整し、その他はできるものを厳選して実施したい。体育や部活は密を避ける工夫をし実施している。

安心・安全な 環境整備は 総合的に勘案し 対応に努める

質問 通学路に防犯灯増設、見通しの悪い場所に路面標示やカーブミラー等の設置は。

町長 現地を確認し、必要場所を精査して安全確保に努める。交通安全対策は、総合的に判断して対応に努める。

質問 想定される避難所の最大収容人数と備品等の準備は。

町長 町内53カ所で1万9千人分を確保し飲料水、非常食、簡易トイレ等を備蓄。間仕切りや段ボールベッド等は調達できる体制を整えている。

中高年のひきこもり対策を 相談員を増員して対応



おがさわらよしこ
小笠原佳子 議員
(公明党)

質問 中高年のひきこもりは、個々人やその家族だけの問題ではない。

社会全体で受け止めるべき大変重要な課題と捉え、早急に取り組むことを強く求めるが町での対策については。

町長 ひきこもり支援も含めた高齢者、障がい者、生活困窮者など、地域福祉全般における相談対応を行っている。

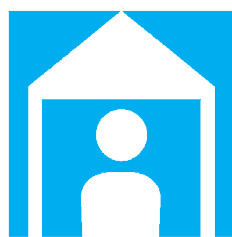
個別の事情に応じて関係機関と協力し、ご本人やそのご家族の状況によって、自宅を訪問し、社会参加や社会復帰に向けて丁寧に取り添った対応に努めている。

また、本年4月より相談員を増員しており、生活不安等に関する相談体制の充実を図っている。

コロナ感染 拡大対策

「新しい生活様式」
を定着

質問 新型コロナウイルスの



外出控え



密集回避



密接回避



密閉回避



換気



咳エチケット



手洗い

感染拡大予防のための「新しい生活様式」の実践例（厚生労働省）

病後児保育 新規開設を

ニーズが多い病児
保育を検討したい

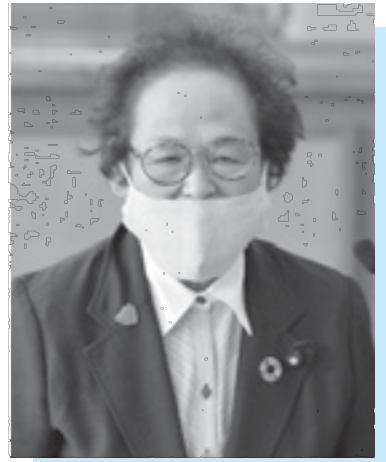
質問 町内に病児保育施設がないので、現在は協定を結び他市町の施設を利用している。

町内で病児保育施設の実施が難しいのであれば、北上市や花巻市のように病児回復期の子を預かる病後児保育の新規開設の考えはないか。

町長 急な発熱で病院受診後すぐに預かる病児保育は紫波町、盛岡市、滝沢市の7施設で利用する事ができる。町内では病児保育のニーズのほうが多い。医師会等と調整し病児保育実施に努めていく。

町長 手洗いや手指消毒の徹底、マスクの着用、三つの密の回避など、当たり前の生活習慣となるよう、町のホームページや、やはラヂ！での周知、町内施設へのポスター掲示、全世帯へのチラシ配布など普及啓発を行う。

コロナウイルス検査を容易に 広域行政と連携し運営



やがみともこ
谷上知子 議員
(令和やはば)

質問 検査が容易に受けられるようにするために、町内に検査機関連の設置をするよう県に働きかけてはどうか。

町長 県では発熱外来設置の調整が進められており、盛岡広域市町・医療機関が連携しながら運営していく。

質問 予防ワクチンが実施可能となった際には、希望者へ費用を助成する考えは。

町長 接種費用の助成を行う。

質問 中止や延期となる行事や行政サービスの迅速な広報については。

町長 広報やはば、ホームページ、やはラヂー、定例記者会見で発信する。



感染に気をつけながら活動を再開した新田体操クラブ
(通いの場体操くらぶ)

質問 町内に居住する外国人技能実習生等の方々に対する医療対策支援は。

町長 町民の皆様と同様、検査や治療にかかる医療費は公費負担となっている。相談先は県の「帰国者・接触者相談センター」となっている。

町でも実習先を通じ、引き続き適切な情報提供を行う。

質問 検査や治療の場では、全国的にも県内でも、言語が通じず苦慮している。さらに日常生活において、相互の理解を深めるためには、言語

の理解は重要である。使いやすい多言語通訳機器を用意してはどうか。

町長 検討する。

町を元気にする 文化活動は

新しい生活様式に
配慮し開催する

質問 町を元気にするために、自治公民館を会場として、子どもから大人までが参加できる、町主催の文化活動を企画し、コミュニティを活性化させる考えはないか。

町長 元気を取り戻す文化活動が必要であり、地区の公民館は住民の連携と親睦を図る場所である。町公民館と地区の公民館が地域づくりの両輪として事業を推進していく。新しい生活様式に配慮しつつ、皆様からのご要望をいただけるながら、町民が元気に、コミュニティが活発になる笑顔あふれるイベントなども企画したい。



ふじわらしんえつ
藤原信悦 議員
(町民の会)

人口減少抑制に向けて 魅力ある、住みたいまちを目指す



堤防がなく浸水被害が心配される北上川右岸（土橋）

にまち全体の魅力を高めるよう努め、3万人の実現に向け継続して取り組んでいく。

質問 どうあれば町が魅力的になるのか、県外在住者を含め多くの方に、聴く機会や方法を考えてはどうか。

町長 オンラインの活用等を検討し、施策に活かす。SNS等で情報を発信し、定住・移住につなげる。

産学官連携で

特色ある商品開発や新たな産業の発掘育成に

質問 町は産業振興や就労の拡大をどのような方針で進める考えか。

町長 土地の確保、企業のニーズを把握し、町の企業立地奨励制度を活用しながら積極的に企業誘致に取り組む。

質問 産業の育成・発展を図るため、産学官で共同プロジェクトを立ち上げ、取り組む考えはないか。

町長 町内には岩手医科大学や県立産業技術短期大学があり、産学官が連携しやすい環境にある。

共同研究を進め、特色ある商品開発や新規産業の発掘、育成につなげたい。

北上川氾濫浸水への対応について

明るうちの避難行動と築堤の実現

質問 北上川の氾濫浸水時における避難行動計画は。

町長 洪水が予想される場合は、明るうちに避難所（徳田小・矢巾東小）を開設、「避難準備、高齢者等避難開始」を発令。町民へは緊急メールなどで早めの避難を促す。

質問 土橋の指定避難所は、堤防がない場所にあることもあり、浸水しやすい。早期築堤を国に要望する考えは。

町長 現在、国の計画にはないが、早期整備実現に向けて粘り強く取り組んでいく。

質問 まち・ひと・しごと創生人口ビジョンや総合戦略で示された人口減少抑制の取り組み経過は。

町長 計画は昨年度末で終了したが、今後、有識者を含めた評価や総合計画後期基本計画等に基づき、これまで以上

コロナ危機 命と暮らしどう守る

町独自の支援策も実施



かわむら
川村よし子 議員
(日本共産党)

質問 独居高齢者や高齢者世帯に、町内飲食店による食事提供サービスはできないか。

町長 現在、在宅老人配食サービスを実施しているが、町内飲食業者による配食サービスも含め、今後の支援体制のあり方を検討していく。

質問 要介護認定3以上の在宅介護者を介護している家族に対し臨時給付金の創設は。

町長 現在、認定4以上の方を対象に家族介護慰労事業を実施。対象の拡大については、実態把握を通じて総合的な検討を行い、既存の各種サービス等の周知啓発や利用促進も図りながら、在宅要介護者の生活維持の継続及び介護者の負担軽減を図っていく。



各地域の農地図面をもとに調整する担当農業委員
(北郡山公民館)

質問 児童扶養手当の受給世帯及び親元から離れて生活する学生を持つひとり親世帯に対し、支援給付金支給事業を町独自に創設できないか。

教育長 国の様々な制度を活用しながら、町独自の支援策について準備を進めて行く。

**共同調理場の
民営化は
時間をかけて検討**

質問 民営化は保護者の財政的負担増や地産地消率の低下

従事者の過重負担などが予想されるが考えを伺う。

教育長 子どもたちが安全な給食を安心して食べられる環境づくりを第一に考え、民営化も含め時間をかけ検討する。

**農業振興の
考えは**

人・農地プランの
話し合いで支援

質問 高齢化、後継者不足等の理由で、営農組合解散の地域もある。今後の営農組合のあり方をどう考えているか。

町長 集落営農組織の法人化など、営農基盤の強化を推進し認定農業者や家族経営、個人農家とともに、それぞれの地域の営農を担っていただけるよう「人・農地プラン」の話し合いを通じ支援していく。

質問 耕作放棄地の調査方法と解消対策について伺う。

農業委員会会長 農地パトロールと所有者の利用意向調査で効果があり今後も取り組む。



やまざきみち お
山崎道夫 議員
(一心会)

どう反映する 新農政計画！

小規模農家の支援も検討



キャベツ栽培を取り入れた複合経営を行う上矢次農組合

質問 今後10年間の農政の指針となる新たな「食料・農業・農村基本計画」が4月からスタートした。
新計画は、認定農業者らを重点的に支援する従来の姿勢と併せ、中小・家族農業など、「経営規模の大小、条件に関

わらず、農業経営を底上げする」との方針である。

本町は兼業など小規模経営が多いが、農業政策に新計画をどう反映していくのか、展望も併せて明らかにされたい。

町長 家族農家や兼業農家が定年退職後に、認定農業者や地域の集落営農を担う人材として活躍している事例も多いことから、こういった農業者も対象となるよう既存事業の拡充を検討していきたい。

質問 食料自給率が37%まで落ち込み、食料の6割以上を海外に依存している極めて危険な状況である。

わが国の農業生産の約4割を占める小規模農家に対する本町としての支援策を示すべきでは。

町長 規模等に関わらず、多様な経営による営農の継続を重視し、高収益作物を取り入れた複合経営や、農業機械の共同利用などを推奨し、経営を向上させていくため、小規模農家等も活用できる使い勝手の良い支援策を検討したい。

森林セラピー コース整備を

実現に向け 鋭意努力する

質問 森林の癒しの効果を利用して、心身の健康維持・増進・疾病の予防を行うことを目的とし、全国で64箇所の森林セラピー基地が認定されている。

本町においても、春の菜の花・夏のひまわり畑を中心として、稻荷街道松並木、水辺の里、ぬさかけの滝や城内山、南昌山などを巡る森林セラピーコースを設定し、保養センターで汗を流して心身をリフレッシュするための「心の湯治場・癒しの里」づくり事業を進めてはどうか。

町長 西部地区に点在する観光所をハイキングコースとして設定し、観光や心身の健康維持などに役立てられるよう、実現に向け鋭意努力していきたい。

スーパーシティ構想は慎重に 個人情報を守られることが前提



おがわふみこ
小川文子 議員
(日本共産党)

質問 人工知能やビッグデータなど、最先端の技術を用いた事業を官邸主導の規制緩和で導入するスーパーシティ法案が5月27日可決・成立した。3月議会の一般質問では、本町の5項目の課題がスーパーシティ構想により解決が可能であり、国家戦略特区の指定を念頭におきながら情報収集していくという答弁であった。5項目の内容を伺う。

町長 「移動分野」では、個人に合わせた移動サービスの提供。「医療・介護分野」では、食生活・運動習慣の改善を通じた健康増進モデルの形成。「防災」では、防災情報のICT化による住民避難支援。「環境・ゴミ分野」では、社会心理学を活用した環境配慮



パッケージ一新！ ほと麦エキス入りの「新さんざジュース」

質問 個人情報を守られるのかという危惧があることから

町長 応募する場合は、その内容について議員の皆様へ説明させて頂く。

質問 徳田在来種のハトムギは、農水省に種子が保存・登録されている矢巾の貴重な地域資源であり、後世に伝えていくべきものと考ええる。今後の栽培方法の継承をどのように考えているか伺う。

町長 ハトムギはさんざジュースが発売された当初から活用されており、奨励補助金で支援してきたが、平成27年度を最後に作付けいただけの農業者が無い状況となっている。貴重な地域資源と認識しており、作付け復活の対策と利活用・記録保存に向けて検討していく。

水準を高める活動への改善。「教育分野」では、いじめに対応するための基盤となる環境整備。これらを本町のアイデアとして応募している。

議会及び町民に公表する考えがあるか。

町長 応募する場合は、その内容について議員の皆様へ説明させて頂く。

慎重に対応するべきと考えられるかどうか。

町長 個人情報を守られることが前提と考える。

**徳田ハトムギ
在来種を後世に
貴重な地域資源
作付けを検討**



質問は簡潔にわかりやすく

議会傍聴は今が2回目、前回傍聴したのは10年前のことになります。

今回傍聴して感じたことは、質問者は様々な課題を質問しており、現在の日本の状況（新型コロナウイルス感染症）の関係で重複している質問などもありましたが、町長を初めとして、各担当者が一つ一つの質問に誠意をもって丁寧に説明して答えていた姿が、大きく印象に残りました。質問者の中には、長々と質問をする議員もおりましたが、



えんどうのぶゆき
遠藤 信行 さん（新田1区）
（写真撮影のためマスクを外していただきました）

もっと簡潔にまとめたらいかがでしょうか。わかりやすく時間短縮になると思います。

矢巾町も大きく環境が変わりました。矢巾町のモットーである事件事故のない安心して暮らせる「安心・安全」の町づくりのためにも、行政の担当者には尚一層の努力を望むものです。

最後に、現在世界的に感染が広がっている新型コロナウイルス感染症の終息が一日も早く訪れることを祈念しております。

追跡

あの質問はどうなった

過去に質問したことがどうなっているのか調査しました

ゾーン30設置の考えは

（平成27年9月会議）

質問 新たな交通対策として各地で「ゾーン30」が設置されているが、町で計画を検討したことがあるか。

回答 紫波警察署と検討を始めたばかりであり過去に検討した経緯はない。

現在は

令和2年3月「ゾーン30」 煙山地区でスタート

○通学児童や歩行者の安全を確保するため、煙山小学校付近の区域を最高速度30^キに規制する「ゾーン30」がスタートしました。



「ゾーン30」の規制標識
（煙山小学校付近）

リサイクル率向上は

（平成28年3月会議）

質問 リサイクル率を向上させるために、紫波町方式のリサイクルセンター設置場所以を拡充する考えはないか。

回答 リサイクル施設の検討の際は、民間活用を視野に入れていく。

現在は

古着・古布・割りばしの リサイクル回収を実施

○ごみの減量化・資源化の取り組みで、役場ほか2カ所で古着・古布・割りばしのリサイクル回収を始めました。今後は24時間回収できる施設を設置する予定。



町内の園児が書いた絵が貼ってある回収ボックス（矢巾町役場入口）



昨年の矢巾町ふれあい広場で「笑文字」を実演する筆者

まちの 人



笑文字講師

かね ぎき ゆい こ
金 崎 結 子 さん (流通センター)

笑文字で地域に 幸せを巡らせたい

幸せだなあと感じる瞬間、あなたはどれくらいありますか。私は笑文字に出逢ってから、そんな時間が増えていきます。

笑文字は、文字の中に満面の笑顔が入る筆文字です。2014年、当協会代表理事の廣江まさみさんと受講生

同士として、講座で出会った笑文字を初めて手にしました。その後、単身赴任先の札幌から東京の廣江さんの笑文字講座を受けに行き、笑文字

を書けるようになりました。「書いて半分渡して完成」というコミュニケーションを続けるうち、笑文字には、ただの筆文字ではない幸せが巡るすごい力があるということに気づきます。差し上げた人も、もらった人も幸せになれる満面の笑顔のコミュニケーションツールだったので、書いて渡すことで、感謝や

喜びを日常の中に見つけ、人間関係が豊かになり、身近な幸せに気づいたりします。これを大好きな岩手に広めたい。そして、ひとりでも多くの方が自分を満たし、自分らしく今を一番大切に生きてほしい。そんな想いで活動をさせていただいています。

矢巾町では、田園ホールのアートフェスタでの展示や、さわやかハウスのふれあい広場でお名前を書く実演をさせていただきました。

でもこれは、わたしの特技ではなく、誰でもルールを知ることによって書けるようになるんですよ！「書いて渡した人だけに起こる奇跡」や、「感謝と喜びの循環」の体験をたくさんの方にしてほしいですね。

矢巾町に、この笑顔の幸せが巡るように、これからも活動をさせていきます。

〇表紙に寄せて〇

6月26日、28日に行われた夏の花いっぱい運動では、各自治会の協力で県道沿いの約2.7畝にマリーゴールドが植えられました。

多くの人の目を楽しませてくれるでしょう。表紙は流通センターの皆さん。テイの皆さん。



あ と が き

編集委員として5回目の発行に携わり、一つの仕事を成すことの難しさが身に染みました。町民のみなさまに議会の活動状況が理解されるよう心がけ、町民目線で今後も発行してまいります。

編集委員 吉田 喜博

発行・編集責任者

議長 藤原 由巳

編集委員

委員長 水本 淳一

副委員長 廣田 清実

委員 藤原 信悦

委員 吉田 喜博

委員 小笠原佳子



古紙配合の再生紙と植物油インキを使用しています

〈ご意見はこちらまで〉

E-mail : gikai@town.yahaba.iwate.jp

いわてやはば議会だより213号

令和2年7月16日発行